

第10回 伊丹市まちづくり基本条例の見直しに係る市民会議

会 議 録（要 旨）

日 時：平成27年3月22日（日）午後6時30分～8時

会 場：伊丹市役所7階701会議室

出席委員：稲垣隆弘委員・上埜委員・大田委員・唐澤委員・阪上委員・栄田委員・
白岩委員・鈴木委員・高橋長司委員・高濱委員・真野委員

司 会：上埜委員

1. 開 会

（1）出席委員・傍聴者の報告

出席委員：11名

傍 聴 者：0名

（2）議事録署名人

今回は上埜委員と唐澤委員にお願いする。

2. 議 事

（1）これまでの議論のまとめ

- ・事前配布の「伊丹市まちづくり基本条例の見直しに係る市民会議まとめ（案）」の内容を出席委員で確認

（2）その他

- ・市民会議での検討の感想を各委員より発表

【意見の概要】

- ・自治会や子ども会、PTAの方と接することがあったり、市民会議で若い方の意見を聞いて新鮮な気持ちになったので、こういう機会がどんどん増えればと思う。
- ・まちづくり基本条例の理念や、関係する取り組みが、もっと皆に広がっていけばいいと思った。
- ・長い間伊丹市民である割には、市のことについて無知すぎたと思った。広報だけではなく、電光掲示板などで、行政情報を知ることが大事だと思う。市民が市政に関心をもつ方法、市政情報を得るよい方法はないものかと思うが、同時に市政について自分から知る努力もしないといけないとも思った。
- ・かなり前から「市民が主役のまちづくり」といわれてきたが、今現実になりつつあるのではないかと思う。市のボランティアをしているので、市政について分かって来た。どこかの活動の入り口から入っていけば、分かるようになってくるのだと思う。

それと、条例の文言が昔とちがって、やさしくてわかりやすくなったと思う。

- 今回の市民会議を通じて、地域コミュニティや地域組織について学ばせてもらったのはありがたいと思う。住んでいながら地域付き合いに無頓着で、家族に任せていたが、家庭でも話をする機会にもなったので、よかったと思う。
- 伊丹に住んでいても、仕事で大阪に出ているので、地域行事などコミュニティに携わってこなかった。定年が近づいてくるにつれて、関わるべきだと思い、この会議にも参加した。行政には、市民がもっと関われるように努力してほしい。市民会議の「まとめ」には、ずっと意見を出してきた情報発信の必要性を随所に盛り込むことができた。まちづくり推進課だけに留まらず、市がもっとさまざまな意見をきいて、情報発信の手法を高めてほしい。そうすると楽しい伊丹になると思う。
- 最初は何も知らないまま参加したが、今は参加してよかったと思う。子供が学校を卒業すると一気に情報が減る。情報を共有できる機会が自治会しかないが、自治会は80%の方しかいないし、なにか知る方法があればと思う。市民が市の事業などに少しずつ前向きに携われるような何かがあればいいと思う。
- 今まで市はもっと事務的なことをしていると思っていたが、20万人近い市民のありとあらゆる場面で市が見守ってくれているのだと分かり、色々と勉強になった。私たち市民も自分のことには責任をもって社会を良くしていかないといけないと思った。特に、子供は一番大事なので、環境をよくしていったり、給食の地産地消なども考えていかないといけないと思った。
- まちづくり出前講座の取り組みはすごくいいと思う。この講座の仕事を拡大していけば、自動的に情報発信や対話ができるんじゃないかと思う。ただ、こういう取り組みが知られていないように思うので、情報発信をしっかりやっていくことが必要である。
- 自治会の人が少なくなって、班と班との合併などをやっている。まちづくり基本条例の議論をしながらも実際の現場では、自治会の人が少なくなってどうしようとか、回覧板をどう回そうというようなことを考えているのが実状である。この会議に出て、自分たちで自発的にやることが大事だと分かった。
- この会議に出て、市報や議員さんの広報などにも関心をもつようになった。市民として、権利ばかりを主張するのではなく、義務を果たさないといけないと思う。自分から発信していかないととか、掃除をしてもらうのを待つのではなく、自分から行かないといけないとか、そういうことを発信していきたい。
- この1年間ですごく勉強になった。まちを歩いていても、掲示板などの文字をみるだけでなくその後ろに人を見るように視点が変わった。市報でもパブコメの部分など、みていたはずなのに気が付いていなかったのも、今後はもっと関心をもっていきたい。

3. 閉 会

【事務局より連絡事項】

- ・議会・議員に関する事項について、議会審議の経過報告
- ・今後の検討予定

市民会議の結論をもとに、附属機関である「伊丹市参画協働推進委員会」において条文化の検討を行い、来年3月の条例改正を目指していきたい。なお、附属機関の議論において、市民会議に補足的に議論を行っていただきたいことなどがあれば、会議を開催したいと考えているので、その場合はよろしく願いしたい。

- ・伊丹市まちづくり基本条例の啓発事業への参加のご案内

これまで、「まちづくり基本条例フォーラム」の開催や、児童・生徒へのポスター募集とその展示、啓発かみしばいの作成などを行ってきた。今後も啓発事業を継続していくので、興味をお持ちの方はまちづくり推進課までご連絡いただきたい。

【市民自治部参事あいさつ】

遅い時間の開催が多かったにも関わらず、長期間に亘り熱心に議論していただき、本当に感謝に耐えない。

全部で13項目のご意見をいただき、条項の追加に関する内容もあるので、今後ご意見を踏まえ、検討を行っていきたい。

また、まちづくり基本条例の普及促進にも取り組んでいるので、ご興味がおありの方がいらっしゃったら、ご参加いただければ幸いである。

以上の通り、第１０回伊丹市まちづくり基本条例の見直しに係る市民会議会議録として確認します。

(以下、署名２名)